

順位	氏名（議席）	発言の要旨
5	小池 義治（15）	<p>1. 市職員の時間外勤務削減を目指し、市役所の開庁時間を短縮してはどうか 本市職員の時間外勤務が多い現状は、職員の負担軽減、人件費削減の観点からも早急な改善が必要であり、このことを市民も理解し協力すべきと考える。</p> <p>富士市役所の開庁時間は、市庁舎入り口や市公式ウェブサイトにも明記されているとおり8時30分から17時15分であるが、17時過ぎに来庁した方への対応や、それに伴う事務処理によっては、時間外勤務が発生してしまう可能性がある。</p> <p>埼玉県志木市（人口約7万5000人）では、今年度から職員の勤務時間の8時30分から17時15分はそのままに、市役所の開庁時間を8時45分から16時30分に変更している。電話受付もこの時間内とし、開庁時間短縮による計1時間は、始業準備や受け付けた申請の事務処理などに充て、年間約1000万円の時間外勤務手当削減を見込んでいるとのことである。</p> <p>本市はデジタル変革宣言を掲げ、各種窓口業務のオンライン化に先進的に取り組んでおり、開庁時間を短縮しても市民サービスの質を大幅に低下させることなく業務を遂行できる環境が整いつつあると感じる。このことにつき、以下質問する。</p> <p>(1) これまでの時間外勤務の削減策とその効果はどうか。</p> <p>(2) 市役所の開庁時間を短縮してはどうか。</p> <p>2. まちづくり協議会における政治的中立性について</p> <p>昨年10月の衆議院議員総選挙の選挙期間中に、某まちづくり協議会が公式インスタグラムで、特定の立候補者の選挙運動車や演説風景を掲載していた。キャプション（添えられた文章）は公平性を意識した投票啓発であったものの、全体の印象として偏りがあると感じたため担当課に相談し、該当の投稿は数日後に自主的に削除された。</p> <p>令和6年2月定例会で望月徹議員が、まちづくり協議会の選挙活動の是非を問うた質問に対する市長答弁は、「まちづくり協議会が地域の課題解決や良好な地域社会の維持に役立てるという目的の範囲内において選挙活動を行うことは、禁止されるものではありません。しかしながら、まちづくり協議会は地域住民の理解と協力によって自主的に運営される団体という性格上、政治的に中立であることが基本であると考えております。」というものであった。しかし、公費による補助金を受けて活動し、公設のまちづくりセンターの指定管理者として随意契約できる性格を持つまちづくり協議会の政治的中立性は、何らかのルールを設け、明確に担保されるべきだと考える。今後、起こり得るトラブルを防ぐ対策を求め、以下質問する。</p> <p>(1) まちづくり協議会と指定管理者契約を締結する際に、または補助金を交付するに当たり、団体として、公式SNSの運用も含め選挙活動及び政治活動を行わない旨の誓約書等を取り交わすべきと考えるがいかかがか。</p> <p>(2) 仮に、現職の市長が次期市長選挙への立候補表明を行った場合、それ以降にまちづくり協議会が行う行政懇談会は、現職市長の政治活動としての要素を完全に排除することが難しいと考える。このケースにおいては、講話者を副市長が代理する、または、行政懇談会を行わない等の対応が必要と考えるがいかかがか。</p> <p>3. 子育て施策充実の観点からもマリンプールは存続すべき 本年2月3日に開催された総務市民委員会協議会において、砂山公園プー</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨
5	小池 義治（15）	<p>ル（以下、「マリンプール」という。）の検討の経緯等についての説明があり、翌朝の新聞には「廃止含め再検討へ」との見出しで記事が掲載された。私のSNSには、この件に関して数十件のコメントがあり、そのほとんどはマリンプールの存続を願う意見であり、特に子育て世代からの強い要望があった。</p> <p>近年、子供たちの水に親しむ環境が減少していると感じる。令和2年には富士総合運動公園の温水プールの供用が終了し、各学校の自由プールも減少している。本市では、川や海で泳いだり、足を浸せる場所も少なく、夏休みの子供たちの過ごし方に苦慮する保護者も多い。これ以上、子供たちが水に親しむ環境を減らしてはいけなと考え、以下質問する。</p> <p>(1) 市内小学校における自由プールの現状はどうか。</p> <p>(2) 市内小学校の学校行事や校外学習として、マリンプールを利用できないか。</p> <p>(3) マリンプールの運営方法の検討に当たり、子育て施策としての観点は取り入れられてきたか。</p>